

案件名	秩父宮賜杯第43回全日本大学駅伝対校選手権大会実施運営におけるカーボン・オフセット	
申請者	社団法人 日本学生陸上競技連合	
案件の概要	全日本大学駅伝対校選手権大会とは、愛知・熱田神宮～三重・伊勢神宮の106.8km(8区間)を、全国25大学と東海学連選抜の合計26チームにより競う駅伝大会である。本大会では、環境への取り組みとして沿道の応援小旗の廃止、プリント用紙・記録用紙の削減など、自らの削減努力を行ってきたが、それらに加えて一昨年度より更なる環境負荷低減を目指し、大会運営におけるカーボン・オフセットを実施している。今年度も引き続き、環境への取り組みの一つとしてカーボン・オフセットを実施する。バウンダリについては、大会運営における大会放送関係の運営、選手・関係者の接遇関係の運営、チーム移動関係を設定し、53tの排出量をJ-VERを用いてオフセットする。	
認証区分／タイミング	I-2 会議・イベント開催オフセット／オフセット予定認証	
カーボン・オフセットの主体(帰属先)	社団法人 日本学生陸上競技連合	
算定範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ中継におけるヘリコプターのジェット燃料 ・テレビ中継における電力 ・運営車(伴走車)及び中継車の燃料 ・選手・大会関係者の移動(飛行機・電車)に伴う電力・燃料 	
オフセット量 / 算定排出量	53t-CO2 / 53t-CO2	
クレジット種別	オフセット・クレジット(J-VER)	
プロジェクト名	釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業～釜石市緑のシステム創造事業～	
無効化日	2012年6月13日	
情報公開	情報提供事項	記述欄
カーボン・オフセットに関する説明	申請者名(認証取得者名)	公益社団法人 日本学生陸上競技連合
	カーボン・オフセットの主体の特定	公益社団法人 日本学生陸上競技連合
	認証対象活動	会議・イベント開催オフセット
	認証有効期間	2011年9月21日～2012年8月31日
	カーボン・オフセットの仕組みの説明	カーボン・オフセットとは、自分の温室効果ガス排出量を「見える化」し、削減努力を行っても削減しきれない排出量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(相殺)する仕組みである。
カーボン・オフセットに関する説明	地球温暖化対策の喫緊性の説明	1906年から2005年までの100年間で、地球の平均気温は0.74℃上昇しており、近年になるほどその上昇速度は加速する。また、この地球温暖化により、自然環境、生態系、気候などに様々な影響が出ている。地球温暖化の主な原因は、人間の活動によって排出される二酸化炭素(CO2)であると言われており、このCO2を削減することで低炭素社会の実現を図り、地球温暖化を防ぐことは、現在から将来にわたる社会の大きな課題である。

算定対象範囲	認証対象活動における温室効果ガス排出源	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ中継におけるヘリコプターのジェット燃料 ・テレビ中継における電力 ・運営車(伴走車)及び中継車の燃料 ・選手・大会関係者の移動(飛行機・電車)に伴う電力・燃料
	算定対象範囲	上記全体
算定方法、算定排出量	算定排出量、及びオフセット量もしくはオフセット比率	算定排出量：53t オフセット量：53t オフセット比率：100%
	算定方法(算定式、及び算定方法の根拠とした文書)	(車両の移動) 燃料使用料 × GHG排出係数 (電力) 電力使用料 × GHG排出係数 (チーム移動関係) 旅客移動距離 × 燃料消費率 × GHG排出係数
削減努力の実施	認証対象活動等に係る排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ照明の調節・消灯を行う。 ・効率的な重機の使用を促進するなど、会場準備に係るエネルギー使用の効率化を図る。 ・営車(伴走車)には低燃費車、低公害車を使用する。 ・テレビや新聞等の媒体を通じて、省エネ・省資源への取り組みを訴える。 ・中継所の設営には、再利用可能な資材を利用する。 ・分別回収したものは、リサイクル業者に引き渡す。 ・沿道の応援用小旗などすぐにゴミになってしまうグッズを使用しない。
	申請者自身の排出削減の取組	オフィス内の空調管理や照明管理、印刷物の削減などの活動を行っている。 また、普段から学生への啓蒙も積極的に行っている。
削減努力の実施	オフセット主体に対する削減努力の促進に関する情報	
オフセットに用いるクレジットの調達及び排出量の埋め合わせ	クレジットの種類	オフセット・クレジット(J-VER)
	認証制度名	オフセット・クレジット(J-VER)制度
	プロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域を含む)	釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業～釜石市緑のシステム創造事業～
	プロジェクトタイプ	方法論:R-002 森林経営活動によるCO2吸収量の増大(持続可能な森林経営促進型プロジェクト)
	クレジットの調達状況・調達期限・通知方法	調達日:2011年5月30日
クレジットの無効化状況・無効化方法	オフセット・クレジット登録簿の無効化口座へ移転	